

平成 30 年度 第 6 回 社会教育委員会会議録

開催日時 平成 31 年 3 月 8 日（金）午後 1 時 30 分～

開催場所 恵那市役所 会議棟 中会議室 A・B

出席委員	委 員 長	近藤 慎平
	副委員長	林 達夫
	委 員	春日井 善久
	委 員	宮地 茂嘉
	委 員	磯部 彰
	委 員	遠藤 茂樹
	委 員	山田 恵市
	委 員	柘植 弘成
	委 員	森川 伸江
	委 員	田口 容子
	委 員	各務 周和子
	委 員	加藤 稚奈子

説明のため出席した社会教育委員会事務局等

教育長	大畑 雅幸
生涯学習課課長	伊藤 英晃
社会教育指導員	遠藤 滋
生涯学習課課長補佐	安田 英明
生涯学習課係長	荻山 勝
生涯学習課総括主査	平林 範子

議 題

1. 平成 30 年度恵那市社会教育委員第 5 回会議録承認
2. 平成 30 年度各課の主要事業について（報告）
3. 第 4 期家庭教育支援計画具体的な施策の進捗状況について（報告）
4. 放課後児童の健全育成指針（素案）策定について（報告）
5. 塾長アンケート結果（報告）
6. 平成 31 年度の社会教育委員会の方向性について

開 会（午後 1 時 30 分）

教育長あいさつ

今年度最後の委員会となります。1年間ありがとうございました。5日に市内8校の中学校の卒業式を無事終えることができました。生徒の姿は本当に落ち着いておりましたが、今の世の中をこの状態で生き抜いていけるだろうかとも感じました。

また、共働き世帯の増加により恵那市でも未満児保育の需要が増えております。その中で10月から無償化が実施されますが、給食費の徴収の方法、土曜日についても希望によっては預かり対応をしていますが、様々な課題も多くあります。サービスの充実はしてきていますが、反対に家庭教育の在り方や子育てに対する意識の持ち方など心配な部分もあります。その他に31年度から学校管理規則を改定し学校評議委員会を削除し学校運営協議会とコミュニティ・スクールとしていきます。当初は学校間格差や地域間格差があると思いますが、見通しをもって少子化の中子ども達をしっかりと育てていけるよう進めたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

委員長あいさつ

今年度最後の定例会となりますが、1年間どうもありがとうございました。またご承知かと思いますが、磯部委員が岐阜県の文藝大賞に児童文学で選ばれました。これは至難の技です。そのうち図書館などに作品が入るとおもいますので、是非読んでいただき地域や学校でも味わっていただきたいとおもいます。磯部委員おめでとうございました。

議題1 会議録の承認

平成30年度第5回恵那市社会教育委員会会議録が承認されました。

議題2 平成30年度各課主要事業について

生涯学習課長より各主要事業について報告

議題3 第4期家庭教育支援計画具体的な施策の進捗状況について

事務局

各課が取り組んでいる家庭教育に関する施策の進捗状況の平成29年度の結果を報告させていただきます。生涯学習課で直接取り組んでいます家庭教育については、前回の委員会にて報告いたしましたので、今回は実績報告のみとさせていただきます。

1枚目の最後乳幼児期の家庭教育学級ですが、207回開催、参加延べ人数は保護者が、1,275人、子どもが1,512人となり前年と比べ減少傾向にあります。課題にも挙げてありますが、少子化や母親の仕事への早期復職もその要因と考えられます。

その他の結果については、他課の結果となりますので、ご自宅にてご確認ください。

委員長

生涯学習課で対応している乳幼児期の家庭教育学級と子育て支援課が対応している支援センターの関係はどうか

事務局

先日子育て支援課からも情報提供がありましたが、各支援センターの利用者数も減少傾向にあり開催日数を減らすことを検討するということでした。またサービスの低下にならないよう生涯学習課で開催している乳幼児期の家庭教育学級と連携し開催することで内容を充実する計画をしていくことになります。

委 員

実績報告を受けましたが、定期検診などを利用しその場で申し込めるような対応をしていくことにより家庭教育学級ももっと充実するのではないかと思います。

事務局

ありがとうございます。現在定期検診にも出向きますが、実際のところ1歳の検診で、すでに復職を考えてみえる方が多く、未満児で園に行く子どもが多いのは事実です。

議題4 放課後児童の健全育成指針策定（素案）について（報告）

委員長

今素案の報告を受けましたが、現状を把握したときに何が課題で何が問題であるかということが明確になっていないと、どうあるべきかということも見えてこない。10年間の計画を見直したときに、何が課題なのかということをはっきりすることが必要だと思います。

委 員

指針を策定にするにあたり子育てに関することは、目に見えて成果がでるものではないが、何をするにも寄り添う人が必要で大切だと思います。それには活動一つにしても人材が必要です。そのことも考えて指針を考える必要があります。

委員長

柱と方針をみると方法論が羅列してあるように感じます。理念をはっきりとし、どのように設置し運営していくのかということと、教育的内容を盛り込むとしたらどういうことをいれるのか、保育的なものを盛り込むとすればどういうことをいれるのかを見込んで策定しなくてははいけない。それが基本で、教育であれ、保育であれそれをどのように展開していくのかという展開プログラムもなければいけない。

また、指導にあたる人の指導をどのようにしていくのか。人材がいらないから誰でもよいというものではない。また、この３点をどのように評価していくのかそれをしていないと見直しもできない。今後 10 年間の指針であれば基本的な構想をたてることにより内容を検討していくことが重要だと思います。

委 員

学童の状況をみていると五月雨式で学年によって集まる時間が違うので、ひとつのプログラムを実施するのは難しいと思います。地域の実情によって違うと思いますが、こどもたちは、学校が近い学童であれば学校のグラウンドに自分たちで行きサッカーなどをして遊んでいます。

委員長

この指針には様々な課が関わっているので、この会としては、意見を提供し良い指針を策定していただきたいと思います。

議題 5 塾長アンケート結果（報告）

前回の委員会で林副委員長から提案のありました塾長へのアンケートを実施しましたので結果を報告します。

コミュニティセンターになり、一個人の学びにとどまらず、学んだことを活かし地域のまちづくりに役立てていけるようなことは大切にしてほしいということ、青少年の健全育成に関すること、三学のまちづくりに関することを共通の仕事として全地域のコミセンに事務局からはお願いしています。

委員長

多岐のわたる資料をありがとうございます。その中で、職務内容が同じでも再任用との賃金面格差は難しい面がありますね。

副委員長

アンケートを実施していただいたので、これをどうしていくのか来年度以降委員会を実施していくなかで、考えていかなければいけない。行政としてはどこの地区でも塾長の仕事内容を明確にして共通の認識をもつ必要があると思います。また、地域の歴史によっては昔からの仕事もあるとおもうので、その辺りは地域で話し合っていたいただかなければいけない。

事務局

冒頭でもお伝えしましたが、青少年健全育成、三学のまちづくりに加え、コミュニティ・スクールの委員としては、学校と地域を繋ぐコーディネーター的な役割をお願いしています。学校としては、塾長のところに相談することで地域にい

ろいろなことを頼みにいけるような窓口的な役割もお願いしているところです。

委員長

先程、副委員長も言われたようにこのアンケート結果をどのように活かしていくか。またこのことを踏まえ、基礎資料として次の議題6の来年度の社会教育委員会の方向性についてご意見をいただきたいと思います。

議題6 平成31年度の社会教育委員会の方向性について

委 員

アンケート結果から塾長の業務の多さや共通の業務以外にも地域性の業務があることがわかった。これを市民の人にも知っていただき、参画を求めることも必要なのではないか。

委 員

今年度は教育長からコミュニティ・スクールの説明をしていただき、視察などとおしコミュニティセンターの状況も把握させていただいたので、これを次の段階につなげていけるような活動にしていきたいと思います。また、切れない支援や教育をもう少し模索していけるといいと感じます。

委 員

塾長のアンケートからもわかるが、仕事の内容から任期1年というのでは誰が受けても何もできない。任期をのばしたり、塾長を受けた時点で研修をしたりすることで運営をするにあたり少しはよくなるのではないかと思う。

副委員長

社会教育は幅が広い。引き続き魅力ある家庭教育を検討していくことも必要である。公民館は中央しかありませんが、コミュニティセンターにおいても公民館法のようなはっきりしたものと塾長が新しい方になっても理解しやすい。任期については本当に良いまちづくりをしようと思うのであれば検討する必要があると思う。塾長会議に参加することにより問題意識をもつことができた。来年度は家庭教育とコミュニティセンターの塾長が何を困ってみえるのかなど、この2本柱ですすめたらどうかと思います。

委員長

今年度の恵那市の社会教育委員の歩みについては、遠藤社会教育指導員が社教連の会報に報告をされました。このあたりも参考にいただき来年度以降どのようにすすめるのか新しいメンバーでご検討していただき素晴らしい社会教育を展開していただきたいと思います。

事務局

今年度最後の委員会は、近藤委員長、林副委員長、春日井委員、磯部委員、宮地委員、山田委員、近藤委員、森川委員、遠藤委員、柘植委員、各務委員、加藤委員が任期満了となります。２年間ありがとうございました。

何をするにも理念をもつべきであるという言葉が大変身にしみました。行政の立場で社会教育委員会を運用していますが、市で取り組んだり、提供することと地域や市民の皆様に担っていただくことの境目が一番難しいところであると感じています。社会教育委員会については、これまでの話の中で、家庭教育について取り組み計画づくりをしてきました。昨年からは地域との関わり方に焦点をおき議論していただきました。今回からは子育てや親育ちなど新たな課題もみえてまいりました。委員会の場で議論していただいたことで、今後これを参考に取り組んで参りたいと思います。

午後３時３０分閉会

平成 31 年 3 月 8 日（金）

社会教育委員 近 藤 慎 平

社会教育委員 林 達 夫